

選挙公報

午後8時まで投票できます
横浜市選挙管理委員会

南区パワーアップ! 地域再生

家族介護のため前回は出馬せずお休みのをいただきました。この4年間で培った経験を市政に生かし、皆さんと身近な政策作りを実現します。

介護・医療・福祉 介護職をつくらないよう介護を受ける人、担う人を支援。認知症予防や高齢者の健康維持に取り組めます。

教育 英語・国語や道徳教育の充実。家庭の経済状況による教育格差をなくします。

経済・雇用 最低賃金を引き上げ、消費増大に取組みます。多様な働き方を認め、望む人全てにチャンスのある社会を目指します。

女性 保育・子育て支援、起業・キャリア支援など女性の地位向上を目指します。

地域 大学・NPO等と連携し、中小企業商店街支援、乗合自動車の導入、防犯防犯など地域課題に取り組めます。

独自の提案が実現しました!
小学校からの英語教育導入

【みんなの改革案】代表 衆議院議員 浅尾 慶一郎
参議院議員 中西 けんじ

katagirinoriko.net



かたぎり
片桐のりこ

南の新しい風 笑顔と安心のまちづくり 平和がいちばん。戦争はしない・させない

いのちを守る

- 防災
 - ◆直下型地震にそなえる防災体制の充実
 - ◆狭あい道路拡幅整備及び崖地・傾斜地対策の推進
 - ◆大岡川の護岸老朽化における亀裂箇所調査・点検・補修
- 福祉
 - ◆医療・介護・老人ホーム等の充実
 - ◆地域で行う介護予防・ボランティアの仕組みづくり
- 子ども・教育
 - ◆児童虐待防止や見守り体制の推進
 - ◆いじめ対策の強化

雇用を守る

- ◆働くことを軸とする安心社会の実現
- ◆女性が働き続けられる政策の推進
- ◆格差社会の是正

暮らしを守る

- ◆ゴミの戸別収集(ふれあい収集)の拡大
- ◆新区庁舎へのアクセスの確保・跡地の有効活用

地域の課題に誠心誠意取り組みます

プロフィール

- 1972年10月10日生まれ
- 1991年3月 神奈川県立津久井高等学校卒業
- 1991年4月 横浜市役所勤務 うち18年間、南区役所で働く
- 2014年5月



民主党公認
いとう純
じゅんいち

約束。約束は必ず守る、できない約束はしない そんな政治家でありたい。

8年前の皆さんとの約束 — 勇気ある一歩を! —

「国が私たちのために何をしてくれるかではなく、私たちが国のために何ができるかを問いたまえ」子どもの頃から憧れていたケネディ大統領のこの言葉を胸に、政治家としてスタートしました。ひとりの人間や政治家ができることは、ほんの小さなことかも知れない。それでも、ひとりが始めなければ何も始まらない。明日への希望を持って、勇気ある一歩を。

4年前の皆さんとの約束 — がんばろう日本! がんばろう横浜! —

東日本大震災直後の選挙戦。厳しい現実の中、がんばろう日本! がんばろう横浜! が合言葉。災害に負けない安全と安心の街づくりを。

新たな一歩を! 政治は言葉と行動がすべてです。常に原点に戻り、自らの足元をしっかりと見つめ直し、横浜の明るい未来に向け、新しい一歩を踏み出したいと思えます。— 約束は必ず守る、できない約束はしない —

11年間秘書として行動を共にした、すぐ義偉官房長官の教えです。私はそんな政治家でありたい。

谷 謙一 昭和33年横浜生まれ。県立横浜緑ヶ丘高校、早稲田大学政経学部政治学科卒業。すぐ義偉衆議院議員の公設第一秘書、政策秘書として11年間勤めた後、平成19年鈴木正之市会議員の後継として市議初当選、平成23年二期目当選。現在、自民党横浜市連副幹事長、自民党横浜市南区連合支部支部長。



自民党公認
谷 謙一

大胆に挑戦します! 安心 プラチナプラン — きらっ都・横浜 ずっ都・みなみ (仮称)

1. 高齢社会を安心の幸齢社会へ
◎地域包括ケアシステムを大きく進めます。

2. 安心の子育て環境へ
◎小児医療費助成を小学6年までに拡大します。
◎妊娠・出産・子育て包括支援センター(仮称)を設置します。

3. 災害・防犯に強い安全安心の地域へ
◎がけの不安を相談できる「がけ対策ホットライン」(仮称)を設置します。
◎施行された法律による空き家対策を進めます。

4. 女性も青年も輝く安心社会へ
◎女性の再就職を支援する「ママインターンシップ」の導入を促進します。

5. 安定と安心の地域経済へ
◎困ったときの道しるべとなる「中小・小規模事業者コンシェルジュ」を設置します。

6. 区民と育む健康で安心の南区へ
◎健康寿命日本一を目指す横浜で南区がトップランナーとなるよう、健康づくりを進めます。
*仁田ホームページに全文を掲載しています。

誠実に実現しました!

寄せられた喜びの声に感謝します!

- 市立中学校へ「スクールランチ」方式の昼食を28年度中に実施
- 通院の「小児医療費助成」を10月から小学3年生までに拡大
- 「保育コンシェルジュ」機能を提案
- 自助共助を進める「防災・減災推進員」を創設
- 「折りたたみ式防災ヘルメット」を小学1年生に支給

プレミアム付商品券で家計と地域を元気に!

プロフィール: 昭和31年 横浜市南区生まれ(58歳) 市立大岡小、私立浅野中・高校、横浜国立大学卒 民間会社で記録材料関係の研究開発、新規事業の企画に従事 電子情報通信学会会員、画像電子学会論文編集委員を歴任 平成7年4月 横浜市議員に初当選(現5期) 現在、横浜市副議長、党本部副代表、社会福祉法人理事 〇座右の銘「疾風に勁草を知る」



公明党公認
仁田 まさとし

声は届く。未来が変わる。

世代を、つなぐ。

南区のために...

- ・現区庁舎の跡地活用
- ・新区庁舎までのバス路線を確保
- ・阪東橋駅から新区庁舎まで無電柱化
- ・南区子どもオリンピック2020開催 他

横浜のために...

- ・すぐ官房長官との連携でデフレ脱却
- ・横浜市営地下鉄の通学定期を値下げ
- ・消防団員の充足率向上
- ・「国際花と緑の博覧会」横浜誘致 他

東北のために...

- ・現地に直接届ける募金活動を継続
- ・南区と東北とをつなぐ「ゆさ祭り」他

◆4年間の実績

- ◆くらしのための危機管理
 - ・放射線測定・崖地防災・空き家対策他
- ◆経済成長による雇用創出
 - ・女性応援プログラム・商店街活性化条例
 - ・建設関連産業支援・夕張市へ人材派遣他
- ◆社会保障の充実で健康長寿
 - ・介護施設の設置基準緩和・がん撲滅条例
 - ・介護度申請から認定までの時間を短縮他
- ◆親子の絆「子育てたい」を応援
 - ・小児医療費助成・学校トイレ洋式化他
- ◆魅力ある美しい観光都市・横浜
 - ・横浜マリン開催・ゴミ工場365日稼働他
- ◆地元の声を議会に反映
 - ・議員提案条例の制定数は全国一位
 - ・毎月30ヶ所以上の市政報告会を実施他

遊佐大輔、二期目に挑戦! 詳細は yusadaisuke.com

ゆさ大輔 33歳



横浜市議会議員 自民党
ゆさ大輔

横浜から景気回復・政界再編

税金のムダ使いを削減

「議員ボーナス50%カット案」をH23年5月に提案(残念ながら議会で否決されました)。費用弁償(通勤費用)の適正化(現在受取を拒否しています)等議員自らも厳しく律します。東京オリンピック・パラリンピックを契機にした事業について徹底的に見直します。

景気回復・税収アップ

「産業誘致」「民生事業」によるインバウンドで横浜の景気を回復し、税収アップに繋がります。横浜版エリアマネージメントの制度化により、民間主導の再開発スキームを導入します。

子育て 教育 公平・公正・安心 な社会形成へ

引き続き、中学校給食の早期実現を訴えます。
英語教育の充実等子ども達に明るい未来を託します。
「人生90年時代」を見すえた公平・公正で安心な社会を形成します。 維新の党

木下よしひろのプロフィール

- 1977年生まれ、東京学芸大学大学院修了(教育学修士)
- 東京学芸大学教育学部卒業、横浜翠嵐高等学校卒業
- 横浜市立栗田谷中学校・幸ヶ谷小学校卒業
- 2011年4月初当選、現1期/水道・交通委員会副委員長
- 元横浜市立中学校教諭/元横浜市立小・中学校事務主事

私、木下よしひろは皆様とお約束した税金のムダ使いを削減することに関して、4年間の活動では不十分であったと考えます。例えば新区庁舎の整備計画において当局より東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、資材・人件費の高騰する中、既に51億円もの建設費が増加する概算が示されていることなどです。このような事業計画に対しては今後も引き続きしっかりと異議を唱え議会のチェック機能を果たして行きます。真の2元代表制を確立します。



維新の党公認
木下よしひろ
37歳

これまで! 市議16年

地域住民とともに

安心・安全なまちづくりを進めます

実現させます!

- 中学校三年生までの医療費ゼロ
- 中学校給食実現
- 現区役所の跡地利用は市民本位に
- 防災対策強化
- 交通不便地域解消
- 敬老パスの継続

バックグラウンドの発言回数!

前回選挙から四年間の本会議での発言回数は、市議員八十八人中第三位です。(Gikai Watch調べ)

プロフィール: 1955年東京生まれ、埼玉中・清水ヶ丘高専、浜女子大、保育士13年経験。1995年に市議会議員初当選。現在、4期目。六つ川小学校六つ川中学校PTA会長。南区PTA連絡会副会長。家族は夫・1男・2女。六つ川台団地在住。

憲法9条を守ります! 市民と力あわせ政治動かす 日本共産党



あらかぎ 由美子

私が十六年間の議員活動で一番大切にしているのは、市民・区民のみならずの暮らしを良くしていくことです。横浜市はお金がないのではなく、使う優先順位を間違えています。私は議会、新区庁舎や高速道路建設を優先するより、そのお金を市民の暮らしに振り向けてと言いつけてきました。私、あらかぎ由美子を再び議会で働かせてください。

あらかぎ由美子 検索 賭博場誘致でヨコハマの活性化はない!



日本共産党
あらかぎ 由美子